

議会だより しらおか Shiraoka



P 2 条例・議員提出議案

P 4 請 願

P 5 審議結果

P 6 一般質問

P 14 委員会活動報告

P 16 議場コンサート出演者募集

福は～内！
興善寺新春を祝う豆まきまつり

※表紙のテーマは「まつり」です。

No.206

2020. 2. 1

白岡市のホームページでも議会の情報が見られます。<http://www.city.shiraoka.lg.jp/gikai/>
誌面に掲載しきれなかった記事を、ホームページで公開しています。



白岡市議会 ホームページ
白岡市議会 ホームページ
白岡市議会 ホームページ

《12月定例会》

11月28日から12月18日までの21日間にわたって定例議会が開かれ、市長から提出された議案20件、議員から提出された議案1件、市民からの請願1件を審議し、いずれも原案のとおり可決・承認・採択されました。

各条例の制定・改正を行いました

64・65号 会計年度任用職員制度の導入に伴う条例の制定・改正

国の法律改正によって新たな地方公務員の身分として「会計年度任用職員」が創設されたことに伴い、「白岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」を制定したほか、関係条例の改正を行いました。

条例の施行により、2年4月からは、従来の臨時的任用職員や一定の特別職非常勤職員（消費生活相談員・家庭児童相談員・さわやか相談員）が「会計年度任用職員」に移行します。

問 2年4月1日付での会計年度任用職員の人数は。

答 60種類の職につき228名のパートタイム会計年度任用職員を任用予定である。

問 だとすると、フルタイムの臨時的任用職員50名がパートタイム扱いとなり待遇が悪化しないか。

答 フルタイムの臨時職員は、会計年度任用職員ではなく任期付職員（給与体系は常勤職員と同様）に移行する。

問 今回の制度改正により特別職非常勤職員ではなくなる職は。

答 行政区長・区長代理者・交通指導員等である。

問 職務の特殊性等を考慮して給与を定める会計年度任用職員とは。

答 消費生活相談員と子育て世代包括支援センター専門職を想定している。

問 その場合には規則により給与を定めるのか。

答 規則ではなく決裁によるが、募集の際に公に周知する。



69号 家庭的保育事業等の基準の改正

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する国の基準の表現に合わせ、所用の文言整理を行うとともに、連携施設の確保が著しく困難であって、市長が認める場合において、連携施設を確保しないことができる期間を5年から10年に延長できることとするものである。

問 連携施設の経過措置を10年間に延長することと、無償化制度で認可外保育施設の経過措置が5年間であることとの整合性は。

答 連携先としては、保育所、幼稚園、認定こども園といった認可施設である。無償化制度の認可外施設の規定とは関係がないため、整合性の問題も起きない。

70号 特定教育・保育施設等の事業運営基準の改正

特定教育・保育施設が受領する食事の提供に要する費用の取扱いが見直されたことに伴い、特定教育・保育施設が保護者から支払いを受けることができる費用に、3歳から5歳までの子どもの副食（おかず）の提供に要する費用を加える。

また特定教育・保育施設が保護者から支払いを受けることができる費用から、年収360万円未満相当世帯の子ども及び年収360万円以上相当世帯の第3子以降の子どもに係る副食費の提供に要する費用を除外する。

問 無償化以前に保育料が減免されていた保護者について、副食費の支払い開始に伴い、負担が増える事案は発生していないか。

答 副食費の支払い開始に伴い、保護者負担が増加する事案、いわゆる「保育料負担と副食費負担との逆転現象」は発生していない。

71号 保育所設置及び管理条例の改正

子ども・子育て支援法における保護者の略称規定が変更(支給認定保護者→教育・保育給付認定保護者)されたことに伴い、所要の文言整理を行うものです。

72号 水道事業の設置等条例の改正

白岡市公共下水道事業及び白岡市農業集落排水事業に地方公営企業法の規定を全部適用するため、白岡市水道事業の設置に関する条例の一部を改正するものです。

概要としては、下水道事業に関する規定を加えることや「水道事業」を「下水道事業」に改めるなど、所要の文言整理を行うものです。

83号 印鑑条例の改正

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、印鑑登録証明事務処理要領の一部が改正されたため、本条例の改正を行うものです。

その主な内容は、登録資格の規定について「成年被後見人」を「意思能力を有しない者」に改めるものや、印鑑登録原票の抹消規定について「後見開始の審判を受けたとき」を「意思能力を有しない者となったとき」に改めるものです。

議員提出議案

議提案第1号 市議会の議場に国旗・市章旗を掲げる決議

市議会の議場に国旗と市章旗を掲げることについて、賛成13票・反対4票の賛成多数で決議しました。

問 掲揚はどのような形式になるのか。議場にポールを立てるのか。

答 市議会は議決機関であり、形式の検討も含め、執行は執行機関の管財担当が行う。

反対討論

議場は、多様な価値観を持つ市民を代表する議員が、自由な討論をつくす言論の府です。様々な意見のある「日の丸」の掲揚については、この受容を強要することになりかねません。国旗が制定されたときも当時の首相は義務づけなどは強制しないと明言しました。



私は本決議に反対します。約10年間市議会議員として働いてきましたが、十分な勉強もできず、さしたる成果も上げることもできず、恥ずかしく存じております。かくなる理由で誇りをもって国旗、市章旗を掲げることはできません。今後の精進を誓い反対します。

賛成討論

私は、第一に議会の責務に対する意識を保つため、第二に国との連携・協力を意識し取り組むため、第三に二元代表制にもとづき議事を進めることの三つの理由から国旗掲揚について賛成します。また、事実上「市旗」として定着する市章旗の掲揚も賛成します。



国旗は、自国を象徴するものであり、市章旗は市民の郷土白岡に対する誇りであります。執行部と議員が議論を行う本会議場に、国旗及び市章旗を掲揚することは国際感覚の醸成と郷土愛の育成の為、本決議に賛成であることを申し上げます。

<令和元年度一般会計・特別会計 補正予算>

会計	補正前予算額	補正額	補正後予算額
一般(第5号)	144億3447万9千円	3億5855万4千円	147億9303万3千円
国民健康保険(第2号)	52億419万5千円	1191万7千円	52億1611万2千円
介護保険(第3号)	31億7917万4千円	2億3154万7千円	34億1072万1千円
農業集落排水(第2号)	8793万3千円	327万9千円	9121万2千円
公共下水道(第2号)	12億3966万7千円	△288万円	12億3678万7千円
白岡駅東部中央土地区画整理(第2号)	2億4430万7千円	△10万2千円	2億4420万5千円

水道(第1号) (消費税を含む)	既決予定額		補正額	補正後予定額
	収益的支出	資本的支出		
	10億7308万2千円	5億2589万1千円	△330万6千円	10億6977万6千円
			44万6千円	5億2633万7千円

新白岡駅東口の武蔵野銀行前に葬儀場建設が予定されていることから下記3点の請願がなされました。審査経緯、結果などについてご報告いたします。

●● 産業建設常任委員会における主な質疑 ●●

請願内容

① 白岡市総合振興計画及び地区計画の方針に合致しているのか、第三者の有識者らによる審査会で審議いただき、その結果を踏まえ、開発許可を出すこと。

請願についての市の見解

地区計画上の制限の効果は、地区整備計画に位置付けられて初めて生じるものであり、葬儀場は、この地区整備計画で制限していない。また、開発許可については、「都市計画法の基準に適合しており、かつ申請の手続きが適法である場合は、開発許可をしなければならない」と定められている。地区計画については、地区整備計画の内容に即した計画となっていれば、開発許可をしなければならない。また、総合振興計画や地区計画の方針は開発許可の基準としては定められていないことから、第三者の有識者らによる審査会での審議結果を踏まえることは難しいと判断している。

② これまでにすでに行っている行政指導については地域住民の意向を踏まえ再検討すること。また、これからの行政指導については、住民の意向を反映させること。

行政指導は市行政手続条例で、市が所掌する事務を逸脱してはならないことや、相手方の任意の協力によって実現されるものであると定められている。市では、市開発行為等指導要綱に適合するように行政指導を行うとともに、地域住民と事業者との間で十分な協議・調整を行うよう働きかけるなど、地域住民の思いは事業者にも今後も伝えていきたいと考えている。

③ 本計画地における開発行為許可申請の添付書類として、本計画に対する内容について、地域住民と本計画の事業者が合意した旨が記された書面を追加すること。

地域住民と事業者が合意した旨が記された書面を添付することは開発許可に関連するいずれの法令においても、要していないことから、これらの書面を追加することは法令の規定上、難しい。



問 地元住民の要望等に、事業者は全く応じてこなかったのか。始めから、建設ありきの態度なのか。

答(紹介議員) そのとおりである。なぜ葬儀場を建てるのか、なぜあの土地なのかといったことなど、建設以前の説明からして、全くなされていない。地元地域には代理人や建設業者しか来ない状況であり、事業主が全く表に出て来ないため、地域住民は話し合いにならず大変困っている。

問 建築の用途は、集会場（斎場）となっているが、地区整備計画では問題はないのか。

答(市) 葬儀場は集会場としての取扱いになり、地区整備計画では制限していない用途であることから適合していると判断することになる。

11月28日 産業建設常任委員会付託

12月12日 産業建設常任委員会審査

● 12月14日に開催される住民説明会の内容を把握したうえでさらに審査をする

12月16日 産業建設常任委員会審査

● 願意を尊重し趣旨採択とする、地域住民の意向を最大限尊重すること、と決定される

12月18日 本会議にて
趣旨採択賛成少数で否決される

原案賛成多数のため原案採択

《12月定例議会の審議結果》

※ 18番 井上日出巳議員は議長のため、採決には加わっていません。
(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ー：採決なし)

「請 願」

議案番号	議席番号・議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果
		中村 匡志	野々口眞由美	斎藤 信治	山崎 巨裕	関口 昌男	松本 栄一	中山 廣子	菱沼あゆ美	渡辺聡一郎	加藤 一生	中川 幸廣	藤井栄一郎	細井 公	大島 勉	遠藤 誠	石原 富子	江原 浩之	井上日出巳※	
請願1号	白岡ニュータウン葬儀場建設に関する請願書(趣旨採択)	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	ー	趣旨採択は、否決
請願1号	白岡ニュータウン葬儀場建設に関する請願書(原案採択)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	×	ー	原案は、採 択

請願第1号については、委員会付託されました産業建設常任委員会において、「趣旨採択すべきもの」とすることに決定しましたが、本会議においては賛成少数で「趣旨採択」が否決されました。本会議であらためて「採択」することについて採決をした結果、賛成多数で「採択」することに決定したものです。

「議 案」

議案番号	議席番号・議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
		中村 匡志	野々口眞由美	斎藤 信治	山崎 巨裕	関口 昌男	松本 栄一	中山 廣子	菱沼あゆ美	渡辺聡一郎	加藤 一生	中川 幸廣	藤井栄一郎	細井 公	大島 勉	遠藤 誠	石原 富子	江原 浩之	井上日出巳※		
64	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決	
65	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
66	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
67	職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
68	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
69	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
70	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
71	市立保育所設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
72	水道事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
73	専決処分の承認(令和元年度一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	ー	承認
74	自転車駐車場に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
75	市道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	ー	原案可決
76	令和元年度	一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
77		国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
78		介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
79		農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
80		公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
81		蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
82	水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決	
83	印鑑条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決	
議提案1号	市議会議場における国旗及び市章旗の掲揚に関する決議案	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	ー	原案可決	

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

12月定例議会の一般質問は、15名の議員が41項目について行いました。

◆関口昌男 議員

- 一連の災害からの反省と地域防災計画の見直しについて
- 学習支援事業を小学生まで拡大を
- 外国人の子どもの学習支援について

◆中村匡志 議員

- 耕作放棄地の解消について
- 農業政策と教育政策・社会福祉政策の連携について

◆江原浩之 議員

- 水害対策について
- 自然災害の備えについて

◆遠藤 誠 議員

- ボランティアの領域
- 日常的事業と行事的事業
- 「また聞きカウンセリング」について
- 押しなべて国土は脆弱
- 市民をおいしい野菜のとりこにする作戦
- 子育て世代に優しいまちに

◆藤井栄一郎 議員

- 台風被害について
- 農業政策について
- 土地の有効活用について

◆渡辺聡一郎 議員

- 空き家のリノベーションで地域活性化を
- 大山地域の活性化策について
- 大規模水害等を想定した災害対策について

◆中川幸廣 議員

- 河川よりの越水・溢水の対策について伺う
- 病児・病後児保育の現状と問題について伺う

◆斎藤信治 議員

- 幼保無償化
- プラスチックゴミ問題に取組を
- ホームスクーラーに支援を
- 学校運営協議会は何を目指すのか

◆野々口真由美 議員

- 当市の防災対策について
- 教員の労働環境について

◆石原富子 議員

- 白岡市の災害対策について
- 白岡市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について
- 市内の郵便局で公的証明書を受けられるようにしてはどうか

◆中山廣子 議員

- ひとり親家庭等医療費の窓口払い撤廃について
- 「赤ちゃんの駅」等の設置について
- 予防接種について

◆山崎巨裕 議員

- いじめ防止対策推進事業について
- 教職員の多忙化と今国会に提出されている「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案」について

◆菱沼あゆ美 議員

- SDGsとまちづくりについて
- 健康寿命の延伸の取組について
- 配偶者等からのDV被害者支援について

◆加藤一生 議員

- 台風19号上陸時の下水道白岡第1号幹線の越水について
- 安心安全メールの現状と今後の展開について

◆大島 勉 議員

- 介護予防事業について

※1人につき2項目までを要約して掲載しています。

※提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。

問

災害からの反省と地域防災計画の見直し

この度の台風被害の状況を見ると市の被害は少なかったが、全国的には大きな被害に見舞われた。その反省から市の地域防災計画を見直す必要があると思われるが市はどのように対応するのか。また、避難所としての学校の体育館の冷房化を進めてはどうか。

答

地域防災計画の早期の改定を検討する

関係法令の改正や国や県における上位計画の動向、市の組織改編などを反映させることは必要であり、計画の早期改訂を検討する。避難所の環境整備は重要な課題であり、財源的に有利な起債の活用も含め教育部局とも連携を取り研究していく。



関口昌男 議員
(日本共産党)

問

外国人の子どもの学習支援の強化を

外国人の子どもの学習支援の強化が叫ばれているが、国も市においてもこの問題への取り組みが進んでいるとは言えない。国は法律を整えたり、振興計画を充実させる取り組みを進めようとしている。市の取り組みを強化すべきと考えるがどのようになっているか。

答

関係各課で連携を密にし支援に努める

関係各課との連携を密にし、学齢期の外国人児童生徒を確実に把握し、就学につなげていく。

日本語指導が必要な児童生徒に対し、日本語指導の支援員を適時に配置できるよう、人材の確保に努め、日本語指導が必要な児童生徒への教育の充実を図っていく。





中村匡志 議員
(創政会)

問 市の農地の約5分の1が耕作放棄地

市内の耕作放棄地は201ヘクタールにのぼり深刻な問題であるが、原因は。「相続法特区」が解消の切り札となると考えるが、内閣府への申請の考えは。農地の集約と「担い手」育成（特に新規就農と「なんさいふぁー夢」）、先端技術導入の状況は。

答 最良の農地の保全方法を考えていきたい

特区申請や先端技術の導入については、先進自治体の取り組みや有効性を注視したい。農地の集約は埼玉県農林公社による利用集積を進め、農業生産法人による作付けが進んでいる。担い手の育成については農業講演会の実施等により新規就農へ繋げていきたい。

問 農業政策と教育・社会福祉政策の連携を

白岡産の農作物はとても美味しいが、学校給食における各産品の使用割合は。また、給食におけるさらなる地産地消の推進は可能か。しらか味彩センターから生ずるフードロス解消のため、フードバンクや子ども食堂と連携してはどうか。

答 市内農産物を様々な分野で活用していく

学校給食で提供している全ての食材に対する白岡産の割合は、2%から6%程度である。今後も白岡の豊かな自然の中で育まれた食材をより多く取り入れていく。フードロス解消に向け、堆肥化の検討や出荷者による子ども食堂への寄付の協力を働きかけていく。



米は白岡産100%！



江原浩之 議員
(無所属)

問 自然災害の備えは

避難所に設置される防災備蓄品は、近年変化があると思われるが、現在当市の備蓄品は、どのような状況か。次に、甚大な自然災害に備え、今後必要であると思われる備蓄品をどのように考えているのか。

答 液体ミルクと可搬式蓄電池を購入する

非常食や飲料水などの食糧、毛布や肌着セットなどの生活必需品、救急箱やマスクなどの医薬品、ブルーシートやワンタッチパーティションなどの防災資機材を備蓄している。今後は断水や停電を想定した備蓄品として、液体ミルクや可搬式蓄電池を購入する。

問 水害対策を

白岡駅東部中央土地区画整理事業区域内の調整池に、里団地の雨水を、流入できないか。次に、白岡駅東口付近の白岡駅東部中央土地区画整理事業区域外、特に、里団地周辺の雨水整備をする必要があるが、どのような考えか。

答 里団地周辺の雨水幹線整備を進める

区域外からの流入は、地形的課題などもあり難しい。今後も周辺地域や放流先水路に配慮した排水ポンプの運転など検討していく。里団地周辺の雨水整備は、現在進めている西地区の雨水工事の見通しがついた段階で、詳細設計を行い工区割りをし進めていく。



台風19号翌日の調整池の様子

問 「また聞き
カウンセリング」について

なによりも精神的ケアは慎重かつ時間をかけなければならない。早期の解決や効率よくというのは、もともと向かない分野である。カウンセリングは「また聞き」ではなく、対象と直接向き合って、身体情報も含めて行うべきと考えるがいかがか。

答 複数の場で、
支援の充実に努めていく

児童・生徒や保護者に対するカウンセリングは、各学校の教職員が実施するほか、各学校に配置された相談員による相談体制を整えている。また、教育支援センターや教育委員会で、来庁による面談を受け付けている。今後も児童生徒の支援の充実に努めていく。



遠藤 誠 議員
(清明会)

問 押しなべて国土は脆弱



先の台風で我が国の災害に対する体力が試された。国土強靱化計画もいつの間にか防災だけでなく減災と言い出した。自然に対しては強靱ではなくしなやかであることが必要なのではないか。また、河川については浚渫による河道の確保が必要ではないか。

答 台風対応で学んだことを
教訓にする

台風への対応については多くのご意見をいただいている。その意見の一つひとつを検証・研究し、学んだことを教訓として、市民の安全を最優先に考え、今後の災害対応に従事する。河川は管理者である県と連携し適切に管理していく。

問 台風被害について
今後の対策は何か

今回の台風被害はどのように把握したのか。どんな被害がどの位あったのか伺う。市民に正確で迅速に情報を伝える為、被害状況の確認手段としてドローンの導入を図り、一刻も早く正確な情報発信する為に防災ラジオを市内全戸に配布するべきと考えるが如何か。

答 市の課題解消に向け
調査・研究していく

被害状況は、各担当部局で実施したパトロールなどにより把握をした。道路冠水などはあったが、人的被害や住家被害は確認されなかった。ドローンの導入、防災ラジオの配布については、他市町の取組などを参考にして、市の課題解消に向け調査・研究していく。



藤井栄一郎 議員
(清明会)

問 農業政策で市の現状と
対策について伺う

農家の作付面積や農業従事者の現状はどのようになっているのか。毎年実施されている農家世帯状況調査票の活用は農業政策に反映されているのか伺う。又、今回の台風被害で農作物の被害状況と稲わら処理の被害状況と対策について伺う。

答 有効に使えるデータが
あれば活用したい

直近の農業センサスでは、593 ha,1,100人である。調査内容で有効に使えるデータがあれば今後活用していきたい。台風ではネギやソバに被害があった。稲わらの被害状況は把握していないが、関係各所と連携し、適切に国の支援策を実施していく。



台風通過後の稲わら被害



渡辺聡一郎 議員
(創政会)

問 避難場所の確保と生活環境の検討を

先般の台風では各地で避難所不足が問題となった。深夜や緊急時に遠い避難所に移動する事は困難だ。白岡市も指定避難所が少ない。民間の事業所やお寺等と連携して身近な避難場所を増やせないか。また避難所における避難者の生活環境の検討も必要ではないか。

答 施設の確保と環境改善を調査・研究する

2階以上の利用が可能な民間施設などにも働きかけ、洪水が発生する恐れがあるときに、安心して避難できる施設の確保に努めていく。避難所の運営に関しては、時系列的な環境の改善を視野に入れ、他自治体の事例などを参考にして調査・研究していく。

問 大山地域に具体的な移住政策を

大山地域は人口減少が進んでいる。新たな移住政策が必要と考える。農業振興地域だが優良田園住宅制度等を活用し、一定規模の移住の受け皿を創れないか。空き家を活用した政策も考えられる。将来にわたり持続可能な地域を創るために具体策が必要ではないか。

答 地域活性化等の人口減少対策を推進する

大山地域の人口減少対策は、人口流出を最小限にとどめ、現在の人口を維持・確保していくことを目標としている。引き続き、大山地域における地域活性化事業を地域住民と協働し推進するとともに、子育て世代などを対象とした移住施策の検討も行っていく。



国交省より
「優良田園住宅制度」



中川幸廣 議員
(白新会)

問 越水・溢水による対策は

元荒川での越水・溢水が想定される。埼玉県総合治水事務所との連携で是非事前防止をすべきである。また防災訓練でも西地区全域の問題として、越水・溢水より命を守るため市が指定する避難所までの避難訓練を実施すべきであると考え。市の考えを伺う。

答 防災教育の普及促進を検討していく

県総合治水事務所が行う総合治水対策の一環として元荒川の浚渫が実施されており、今後、より一層の連携を図っていく。総合防災訓練に風水害対応のメニューを導入するほか、水害履歴などの地域特性を踏まえた防災教育の普及促進を検討していく。

問 病児・病後児保育の現状と問題は

病児や病後児を抱える親にとり、急な発病の際は会社への出勤に当然支障が発生する。その援助役としての「市の緊急サポートセンター事業」は親にとり貢献度が大きいと考える。このセンター事業の現状と今後について病児保育事業の観点から伺う。

答 利用者は少ないが今後も継続していく

緊急サポートセンター事業は、緊急時ということもあり、あまり利用がない状況だが昨年度実施したアンケート調査において子どもの病気の際に「母親が休んで対処した」と回答したかたの約5割がこの事業の利用を希望しているため、今後も継続し推進していく。



問 プラスチックの削減に向けて

石油由来のプラスチックが海中に蔓延している。鯨や亀などが飲み込み苦しんでいる。マイクロプラスチックと呼ばれる小片となり人体にも入り込んでいる。焼却せざるを得ず地球温暖化につながる。プラスチックのない世界に向けて取組むべきではないか。

答 広域での検討・協議を進めていく

プラスチック問題は、多くの自治体と連携し対応していくことで効果を発揮するものと考えている。今後、県の事務研究会に提案するなど、広域での検討・協議を進めていきたい。また、市でも、環境基本計画の見直しにあたり、環境審議会において協議していく。



齋藤信治 議員
(TSUNAGU)



問 ホームスクーラーの実態を把握し支援を

不登校の子どもで自宅等を居場所として学習している子どもがいる。ホームスクーラーと呼ばれている。孤立しているわけではなく、ネットワークを形成している。実態を把握し、こうした子どもたちや保護者の声を聞き、適切な支援をすべきではないか。

答 ホームスクーラーに対する支援を図る

不登校児童生徒への多様な支援の在り方について研究していく。組織体制の整備を図るとともに関係機関との連携をより一層充実させ、児童生徒および家庭に寄り添いながら、多面的・多角的な支援の在り方について検討し、確実な教育機会の確保を推進していく。

問 当市の防災対策について伺う

迅速かつ正確な情報を届ける必要がある。その情報伝達手段について伺う。①スマホ版の市ホームページの作成はいつになるのか。また、なぜ台風19号においてSNSを活用しなかったのか②知りたい情報を市民が選べる電話自動音声サービスの拡張はいかがか。

答 音声ガイドについて調査・研究していく

①スマートフォン対応への予算化に向け検討を進めていく。各関係機関からの情報収集やその整理などにより、最適なタイミングで様々な情報発信ができなかった。②十分な防災情報を提供できる手法として音声ガイドによる情報提供について調査・研究していく。



野々口眞由美 議員
(TSUNAGU)

問 教員の労働環境について伺う

休日も含めた時間外労働の実情、部活動ガイドラインの遵守状況、外部コーチ導入状況について伺う。また、教員間のいじめやパワハラの有無。精神疾患による病気休暇や休職者の人数。メンタルヘルス研修の実施状況について伺う。

答 働き方改革に努め、労働環境を改善する

時間外労働平均は、国の基準を上回っている。ガイドラインを遵守していない状況も見られる。外部コーチ20名。いじめやパワハラは確認されていない。過去3年間の病気休暇4名、休職6名。研修は毎年実施している。労働環境改善のため働き方改革に努める。





石原富子 議員
(TSUNAGU)

問 公的証明書の発行を郵便局で

郵便局で事務の包括受託が可能になった。市内にバランスよくある5か所の郵便局で、住民票などの公的証明書の発行をしてはどうか。ふだん身近な存在の郵便局で発行できれば利便性が向上する。高齢社会に対応した取り組みなので、積極的に検討してはどうか。

答 証明発行サービスの調査研究をしていく

引続き現在の証明発行サービスを活用していただきながら、高齢者や交通弱者の方々のニーズを見据え、市の財政状況やサービスの代替性などを総合的に判断していく。また、様々な角度から証明発行サービスの向上につながる取組を調査・研究していく。

問 災害対策について

台風19号では、白岡初の自主避難所が開設された。しかし防災無線も流れず、情報も少なく、元荒川の増水で川沿いの住民は大変心配した。今回の台風を教訓に、避難指示や避難所運営、災害廃棄物処理など、様々な角度で準備しておくべきではないか。

答 地域との協力体制構築とスムーズな対応

今回の反省点や他の自治体の事例などを検証し、防災行政用無線などのほか、地域のネットワークを活用した体制の構築。また、避難所の開設や運営、災害廃棄物の処理など、スムーズな対応ができるよう検討する。



中山廣子 議員
(公明党)

問 ひとり親家庭等医療費窓口払い撤廃を

現在、ひとり親家庭等医療費は窓口払いの償還払いとなっている。ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図り、受診しやすい体制を整えることで、早期受診・早期治療により、重症化の予防が図られ、最終的には医療費の削減に繋がる。窓口払いを撤廃してはいかがか。

答 今後も子育て支援に努力していく

窓口払いの撤廃は、ひとり親家庭等の生活の安定を図るために有効なサービスであるが、限られた予算の中で、18歳までの子ども医療費の無料化や学童保育所の増設などを優先して実施しているため、新たな事業の実施はむずかしい状況である。

問 移動式赤ちゃんの駅等の設置を

屋外でのイベント参加時に、自由におむつ替えや授乳ができる、テント型「移動式赤ちゃんの駅」と、市役所内に「可動式授乳室・mamaro」を設置して、子育て支援の観点から、子育て世代が安心して外出ができるようにしてはいかがか。

答 安心して外出できる環境づくりを進める

「移動式赤ちゃんの駅」は、イベント主催者の配慮により設置されるよう、しっかりと啓発していく。また、市役所内の授乳室の設置は、可動式授乳室や他の自治体の設置状況を調査し、需要の見込みや費用対効果も含めて検討する。



問 教職員の多忙化と業務削減対策について

教職員のメンタルヘルス不調による休職者が年々増加している。その要因は長時間労働。仕事は年々増加するが先生は増えず仕事の量と質が限界を超える状況。子どもと触れ合う時間、教材研究の時間が取れない事態。業務削減のための対策について伺う。

答 働き方改革を進め、健康保持を図る

学校教育の質の維持向上のため、働き方改革を推進する必要がある。市では検討委員会を立ち上げ、文部科学省のアドバイザーに指導をいただいているほか、部活動ガイドラインでは活動日数や時間を制限している。今後も心身の健康保持のための措置を講じていく。



山崎巨裕 議員
(日本共産党)

問 「いじめ防止対策事業」の充実を

後を絶たない子どものいじめ自殺事件。先頃起こった教員間の神戸「いじめ暴行」事件。子どもを学校に預ける保護者の不安は大きい。いじめ防止対策は喫緊の課題。いじめのない学校・社会の形成をめざし、「いじめ防止対策事業」のさらなる充実を。

答 いじめ防止対策推進事業の充実を図る

いじめ防止対策推進委員会の充実を図るとともに、新たに発足した「いじめ問題対策連絡協議会」をもって、いじめ問題に関係する機関および団体のより一層の連携を推進していく。多くの支援の手で、いじめの未然防止、早期発見および早期対応を図っていく。



問 更なる健康寿命の延伸の取組を

転倒から骨折し要介護状態になる人が多い。骨粗しょう症予防は若い世代からが重要。骨密度測定の対象を、30歳から20歳に拡大し充実させては。課が連携をし、健康寿命の延伸を進め、医療費と介護費の削減の方向へもっていくべきではないか。どうしていくのか。

答 健康寿命の延伸を目指していく

骨密度測定について、骨粗しょう症の予防・早期発見を促す機会の拡大に努めていく。また、今後、健康診査の結果などから、健康課題を分析し、疾病予防などに取り組みとともに、介護予防事業につなげ、健康寿命の延伸を目指してまいりたい。



菱沼あゆ美 議員
(公明党)

問 SDGsを生かしたまちづくりを

2030年までの「持続可能な開発目標」であるSDGsを意識した、まちづくりをしていくべきである。また、地方創生SDGs官民連携プラットフォームで、白岡市も会員として加入しているが、今後の活用はどのようにしていくのか。

答 SDGsへの理解を深めていく

第5次白岡市総合振興計画に基づき、各種施策を推進するとともに、SDGsの理念を十分に意識しながら、まちづくりを推進していく。また、プラットフォームを通して、他団体の活動状況や先進事例の収集に努めるなど、より一層の理解を深めていく。





加藤 一生 議員
(清明会)

問 下水道白岡第1号幹線の越水について

今回の台風19号の上陸時に、下水道白岡第1号幹線の越水が発生し、近隣住宅の入り口付近まで、増水した。その状況把握と今後の対応はどうするのか。

答 状況把握を行い、適切な対応を実施する

今後も、水路を適正に管理していく。台風等の大雨の時には雨量等の情報把握を行うとともに、パトロールにより適切な対応をとっていく。また、水路の越水により道路の冠水が発生した場合には、市民の安全を最優先に考え通行規制を行っていく。

問 安心安全メールの現状と今後の展開は

現在の受信加入者数の推移は。安心安全メールの普及を含めた、市民及び市内で働いている方々に対する、災害時情報の提供手段をどう展開するのか。防災情報の質及び、量の充実をどう考えるのか。また、継続した、情報を提供していくべきと考えるが。

答 市民の安全に関する情報を適時発信する

登録者数は増加しているが、登録者数の増加に向けた、啓発チラシの配布や広報しらかへへの記事掲載、職員出前講座などを活用し周知・啓発を行っていく。また、市民の安全に関する情報は、適時情報を発信し、市民が適切な行動をとれるよう努めていく。



大島 勉 議員
(創政会)

問 介護予防事業と高齢者福祉の今後

これからやってくる超高齢社会において、国からの交付金などしっかり取り込むべきであり、本市として特色ある介護予防事業を展開すべきであるが、どうなっているか。また、2025年問題などこれからの高齢者福祉をどう考えるか伺う。

答 特色のある介護予防事業の実施に努める

保険者機能強化推進交付金について、多くの交付金が得られるよう、シニア元気アップ教室など、特色のある介護予防の普及・継続につながる事業の実施に努める。また、地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、間近に迫る2025年問題などに対応していく。

議会日誌

11月

- 14・15 日 埼玉東部消防組合議会の行政視察
- 15 日 県町村議会議長会の議会広報研修会
- 18・19 日 産業建設常任委員会の行政視察
- 22 日 議会運営委員会
- 28 日 第5回議会定例会
- 29 日 君津市長の災害義援金御礼ご来訪

12月

- 2 日 第5回議会定例会

- 3 日 第5回議会定例会
- 4 日 第5回議会定例会
- 6 日 第5回議会定例会
議会広報常任委員会
- 10 日 総務常任委員会
- 11 日 文教厚生常任委員会
- 12 日 産業建設常任委員会
- 16 日 産業建設常任委員会
- 18 日 議会運営委員会
第5回議会定例会

- 25 日 議会広報常任委員会
埼玉葛斎場組合議会の定例会
- 26 日 蓮田白岡衛生組合議会の定例会

1月

- 14 日 議会広報常任委員会
- 16 日 埼玉東部消防組合議会の臨時会
- 21 日 文教厚生常任委員会の行政視察
- 23 日 全員協議会



委員会活動報告 先進地などへの視察調査

産業建設常任委員会

ソーラーシェアリングについて 11月18日 ファームクラブ中里農場
農商工連携、6次産業化について 11月19日 群馬県沼田市



群馬県前橋市にあるファームクラブ中里農場の営農型太陽光発電を視察しました。この発電方法は、土地の収益力を高めるだけでなく、耕作放棄地対策、雇用創出、環境保全、地域経済の向上など多方面での実績が期待でき、遊休地の多い当市にこの事業所を誘致してもらいたいとさえ感じるくらい将来性が見込まれる事業で、大変参考になりました。

この取り組みを当市に照らし合わせてみると、中山間地のような環境がない当市では規模が若干異なり、小面積での太陽光発電による売電収入の減少や営農との採算性などが懸念されます。しかし、取り組み次第では、上述の効果が当市においても期待ができると思いました。

沼田市の視察においては、たくさんの優良農産品や加工に適した農産物があり、6次産業化の品数を増やす要素が多く存在しています。農家数の減少や地域の新たな担い手の確保の面からも、優良農産品のブランド化によ

る地域おこしの意欲がうかがえました。推奨特産品が数多くある当市においても、これらを活かし、行政がしっかりと広報活動を行うことで、販売拡大の後押しになると感じました。

それには、①中高生のアイデアを取り入れ、メディアの注目を集めて販路拡大を推し進める。②市内の国道122号沿線に道の駅を新設し、6次産業化と併せて大山地区の活性化も視野に入れた街のにぎわい創出が図れるようにする。

議会と行政はもとより農商工業者等との緊密な連携がさらに重要性を増すものと考えます。行政による後押しは、商品やサービスが出来上がってからのことが多いため、まずは、生産者や加工業者が長期にわたって商品やサービスを生産していくという努力や熱意によるところが大きいことも現実です。両者が良い関係を構築していけるよう今後も調査・研究していきたいと思えます。



総務常任委員会

情報システム管理について
10月28日 白岡市

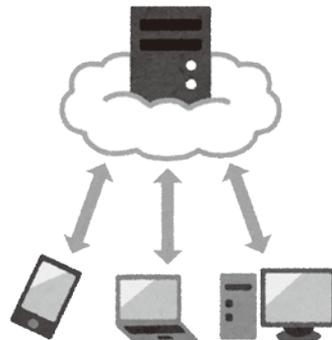
当市におけるソフトの構築状況や情報の管理体制等を理解することができました。さらに、みえてきた課題は①情報漏洩の防止のた

めの万全なセキュリティ対策②災害時における電源喪失や水害などへの対応③情報システムにスキルを持った職員の育成④人的ミスの

防止等です。扱う情報は、行政事務だけでなく、住民の個人情報に至るまで膨大で多岐に渡ります。よってこのような対策が非常に重要です。クラウド化もそれらの対応の一つと言えると思います。

どこの自治体においても、ある程度の予算を投じ独自の政策に合わせたシステム改修を行っていると思われます。サーバーやソフトを複数の自治体でクラウド化することは、システム改修コストの削減やより強固なセキュリティ対策が講じられるなどのメリットが挙げられます。一方で、複数の自治体がクラウド化するには、ソフトに合わせて各自治体の事務を標準化しなければならず独自の政策が

失なわれる可能性は否定できません。よって、当市の独自性を活かした市民サービスを継続し提供することができる、当市単独のクラウド化も有効であると思います。同時に情報システムの更新や改修の時期に合わせて、他市と情報やノウハウの共有を図り、標準化できる部分のクラウド化を検討していくことも長い目で見れば必要なことではないかと思いました。



クラウド化のイメージ

文教厚生常任委員会

市内保育園の運営状況について

10月31日 はっぴー保育園白岡駅東口園・はっぴー白岡園

株式会社オンリーワンが運営している、小規模保育事業所「はっぴー保育園白岡駅東口園」と保育所「はっぴー白岡園」の両施設を視察いたしました。当該保育園では、ハッピーにつながる3つのS、Smile（ほほえみ）、Steps（あゆみ）、Sprout（めばえ）が保育理念に掲げられています。保育園（保育所）は就労、妊娠・出産、病気など保護者が家庭において、十分に保育をすることができない就学前の子どもを保護者に代わって保育することを目的としています。「親の帰りを待っている」だけの場ではなく、様々な人と関わり合い、心身ともに大きく成長する時期の子どもにとって大変重要な場です。

はっぴー保育園白岡駅東口園では、0歳から2歳までの園児がワンフロアで保育を受けており、設備や保育士の人員などは適正だと感じました。また、少人数ならではの家庭的な雰囲気が印象的でした。保育所のはっぴー保育園では、0歳から就学前の87名の園児が保育を受けていました。年齢別に効率的な保育

が提供できるよう、設備に工夫が見られました。また、両園とも簡易ベッド「コット」や有料ですが使用済み紙おむつの処理を園で行うなど、他保育所でも取り入れるべき保護者負担軽減に取り組まれていました。課題としては、園児が安全に散歩できる道路環境の整備、保育士の労働環境の整備があげられます。特に労働環境の整備は、当該保育園だけではなく、保育施設全体の課題であり、保育の質を保つためにも、非常に重要な整備であると思いました。



はっぴー白岡園

議場コンサート出演者募集

市民のアマチュア音楽家及びプロの音楽家をそれぞれ一組ずつ募集します。



- 開催予定日時** 令和2年 **5月23日**(土) 午後2時から午後3時30分まで
- 対象者** アマチュア音楽家の方は、市内在住、在勤、在学のいずれかの方。グループの場合は、1人以上該当者がいること。プロの方は、市内在住、在勤、在学は問いません。
- 注意事項**
 - ①出演に要する経費は、すべて出演者の負担になります。出演料の支給もありません。
 - ②演奏時間は、アマチュア15分、プロ30分です(準備、片付け、紹介時間を含む)。
 - ③楽器や譜面台など演奏に必要な機材等はすべて持参いただける方とします。

- 申込方法** はがきに必要事項をご記入のうえ、2月27日(木)(必着)までに議会事務局へお送りください。
なお、応募者多数の場合は、抽選により決定し、後日お知らせします。
- 必要事項**
 - ①代表者の住所、氏名、電話番号(市外のかたは、市内在勤、在学について明記してください)
 - ②出演者数 ③演奏楽器 ④曲目
- 送付先・問合せ先** 〒349-0292 白岡市千駄野432番地 白岡市議会事務局
TEL: **0480-92-1111** (内線411・412)

議会・委員会傍聴へ いらしてください (議場は市役所4階です)



議会広報常任委員会

- 委員長 斎藤 信治
- 副委員長 加藤 一生
- 委員 中村 匡志
- 委員 野々口 眞由美
- 委員 山崎 巨裕
- 委員 中山 廣子
- 委員 中川 幸廣

12月定例議会傍聴者数

本会議	市内 90名	市外 2名	合計 92名
委員会	市内 42名	市外 0名	合計 42名

次回の定例会は、 2月20日(木)開会予定です。

編集後記

台風15号、19号によりお亡くなりになられた方々とご遺族に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

これらの台風は東日本全域の各地に甚大な被害をもたらし、自然災害の恐ろしさを改めて痛感させられました。台風19号では多くの市民の皆さんが不安を覚えたに違いありません。市のこれまでの防災対策は今回のような自然災害に対応できるものになっていない現実が露呈しました。防災対策の在り方が大いに問われた12月議会です。今後もこの課題を追究し具体化する姿を議会だよりを通して伝えていきます。(山崎)

議会だより 11月号 (No.205) のP4の介護保険特別会計決算の問答の「答」に誤りがありました。30年度介護認定審査会開催回数「164回」は「64回」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。